

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 24 年 2 月 10 日作成

事務事業名	日本スポーツ振興センター災害給付金参画事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12100																									
			所属課室	教育総務課	課長名	樋口敏明																									
	☐ 実施計画事業		所属担当	保健給食担当	担当者名	千野千代美																									
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
		23	学校教育の充実		01	一般	0	1	1	0	0	2	0	2	0	2	1														
政策		36	「生きる力」を育む学校教育の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																										
施策																															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	学校保健法																										
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)																														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (22年度)																										
	学校の管理化における児童生徒の災害に対して、災害給付金(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行うと共に、事故災害を未然に防止するという観点から、学校安全法(安全教育、安全管理)の普及に関する業務及び児童生徒の健康保持増進に関する業務(独立行政法人 日本スポーツ振興センター)				<table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>その他負担金</td> <td>6,677</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>6,677</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	その他負担金	6,677													計	6,677
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
	その他負担金	6,677																													
		計	6,677																												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	毎月センターへ災害医療費支払い請求、保護者へ見舞金の振込みをした。
23年度活動予定	毎月センターへ災害医療費支払い請求、保護者へ見舞金の振込みをする。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
22校児童生徒	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
学校の管理化で起こった事故に対する医療費の補填により、保護者の負担が軽減される。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
児童生徒が安心安全に学校生活を送る。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア年間取り扱い件数	件
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア児童生徒数	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア年間給付額	円
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア学校生活の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	6,772	6,677	6,833	6,804	6,804	6,804	
	事業費計 (A)		千円	6,772	6,677	6,833	6,804	6,804	6,804	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	480	480	480	480	480	480	480	
		人件費計 (B)	千円	2,141	2,141	1,902	1,902	1,902	1,902	0	
		(A)+(B)	千円	8,913	8,818	8,735	8,706	8,706	8,706	0	
活動指標			ア	件	823.0	670.0	670.0	670.0	670.0	670.0	
			イ								
			ウ								
対象指標			ア	人	7,193.0	7,276.0	7,130.0	7,130.0	7,130.0	7,130.0	
			イ								
			ウ								
成果指標			ア	円	4,969.0	5,274.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	
			イ								
			ウ								
上位成果指標			ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前より、災害補償を行うため開始されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	子ども医療により医療費無料化の助成対象が小6まで広がり、小学生は医療費の支払いをせずに済んでいる。今後子ども医療の受給者が増えるようなら、災害給付金事業の対象を見直す必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	小学校の養護教諭や医療機関での窓口で、子ども医療(市負担)を使わず災害給付金の請求をするよう指導していると聞いている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	小学校の養護教諭や医療機関での窓口で、子ども医療(市負担)を使わず災害給付金の請求をするよう呼びかけ、指導を行っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	日本スポーツ振興センター災害給付金参画事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 児童生徒が安心安全に学校生活を送るための災害給付制度であり、上位目的に結びついている。	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 請求内容と審査、給付は(独立行政法人)日本スポーツ振興センターへの委託事業である。	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 対象児童を中学生に限定することで成果の向上は図れるが、小学生に対し見舞金の給付と免責が無くなるので、限定することは難しい。	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 有効な事業の進め方である。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 見舞金給付、免責だけの契約ができない。 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 学校の管理化で起こった事故に対する医療費等の補填が児童・生徒が安心安全に学校生活を送れない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 適正な事業費かと思われる。	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 一部委託事業であり、必要最低限の人件費のため省けない。	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者が小中学校全生徒であり、公平公正な機会である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					